

行 政 報 告

平成21年度福島町議会定例会6月会議の開会にあたり、3月11日開催の平成21年第1回定例会以後の行政報告を申し上げます。

なお、この間の諸行事等の報告については、別紙に印刷のうえ、お手元に配布しておりますのでご了承願います。

はじめに

★ 防犯啓発用車両（宝くじ）の寄贈について

平成21年度の（財）日本宝くじ協会助成事業「青色回転灯付防犯パトロール車」は、20都道府県防犯協会連合会に1台ずつ配備することと決定され、（財）北海道防犯協会連合会では松前地区防犯協会福島支部へ8月下旬の予定で贈呈する旨の通知を受けました。

尚、車両については、福島支部へとのことですが、規模が小さい団体への寄贈は認められないとのことから、福島町名義での登録及び維持管理で寄贈を受けることとしました。

また、寄贈は車両本体のみであり、登録諸経費等の関係予算を今議会に補正計上しております。

★ 吉岡駐在所改築での町有建物貸付について

松前警察署・吉岡駐在所の改築に伴い、工事期間中の仮事務所兼仮宿舍として、旧教員住宅（宮歌）の1棟を借り受けたい旨申し出が松前警察署長よりありましたので、5月下旬から12月中旬の予定で貸付をしております。

★ 北海道福島会総会への参加について

北海道福島会の総会が、去る4月25日東京都において開催され、来賓や会員合わせて約100名が参加し、会員の皆様には当町の近況をお知らせするとともに、「空き家バンク制度」への協力や「ふるさと納税」

に対する理解と協力をお願いして参りました。

会場では参加者の出身小中学校の校歌をBGMとして流し、そのなかで、「ウニの塩水パック」などの当町海産物や九重親方提供の相撲グッズ・「ちゃんこ招待券」等の抽選会などを行い、盛会のうちに終了いたしました。

また、昨年に引続き会員の協力により、「北海道ふるさと会連合会」が主催する「産直フェア」へ参加し、「二人の横綱の里ふくしま」と「地場産品」をPRしていくことも決めていただきました。

★ 白符中継局整備について

地上デジタル放送事業につきましては、福島（千軒）中継局及び白符中継局共に年度内の開局を予定しております。

千軒中継局にあっては、NHKはじめ民放各社が整備することとなっておりますが、白符中継局は、民放5局の中継局を福島町が整備し国庫補助等を除いた町負担費用を民放5社で負担することとしており、NHKは単独で整備を進めているところであります。

白符中継局施設整備工事の設計がまとまりましたので、関係予算を今議会に補正計上しております。

★ 地域活性化・経済危機対策臨時交付金について

国の平成21年度第1次補正予算が4月10日に閣議決定され、現在、国会で審議中ではありますが、本交付金は前年度末に創設された「地域活性化・生活対策臨時交付金」と同様の仕組みのものであり、総額で1兆円が計上されたところであります。

現在、国から示される地方公共団体への交付金限度額は、地域経済の疲弊が著しい団体や財政力の弱い団体、過疎などの条件不利地域に配慮して定めるとしており、当町の交付限度見込み額は約1億9千万円となっております。

今後、交付金要綱等が示された段階で議会に補正提案をしてまいります。

★ 「省エネルギービジョン」策定事業について

「省エネルギービジョン」策定事業への応募につきましては、地球温暖化防止のため温室効果ガスの削減が求められており、地域レベルでの省エネルギーを推進するにあたって独立行政法人「新エネルギー・産業総合開発機構（NEDO）」が公募する100%補助事業である「地域省エネルギービジョン策定等事業」へ4月10日に応募をし、5月11日には実施計画書の審査が行われ、5月19日付けで本申請したところがあります。

この事業により公共施設や一般家庭・事業所を含めた地域における省エネルギーに係わる基礎データの収集を行い、地域全般にわたる省エネルギーの推進や普及啓発に関する基本計画や重点プロジェクトの検討を進め、「地域省エネルギービジョン」を策定するものであります。

関係予算につきましては、今議会に補正計上しております。

★ 生活排水対策の検討について

当町の「生活排水対策」の取組みにつきましては、平成12年の「下水道事業に関する調査特別委員会」で検討されて以降、具体的な対策が講じられることなく今日にいたっている状況にありますが、生活排水対策は環境保持の面からも重要であり、今年度中に生活排水に関する課題等を整理するため、「水洗化意向調査及び生活排水処理基本計画策定業務委託」を3月に発注済みであります。

アンケート調査等を実施し、「生活排水処理基本計画」の策定に向けて作業を進めており、12月に「基本計画書のとりまとめ」となっているところがあります。

基本計画がとりまとまり次第、町民の意向を踏まえ、生活排水対策の方向性を議会に示してまいります。

★ 地域福祉推進市町村の決定について

高齢者の孤独死や災害時の要援護者支援の問題など生活課題が顕在化しており、地域福祉の再構築が課題となっていることから、今後、国と

市町村が協働して地域福祉推進に取り組むため、厚生労働省では全国の50市町村程度を対象に地域福祉推進市町村を指定し、安心生活創造事業を創設してモデル事業を実施することになりました。

当町もモデル事業への参加意向を示しておりましたが、厚生労働省から3月31日付けて「地域福祉推進市町村（全国55市町村（道内4市町））」として決定を受けました。

今後、国の補助金を受け、地域の意向を把握し、福祉関係機関と連携を図り3年間をめぐりにモデル事業を実施し、その効果を検証しながら新たな高齢者対策を構築してまいります。

★ 障害者福祉サービス適正化連絡会議の設置について

平成21年4月30日に、聴覚障害に関する情報交換、協議等を目的として、道と市町村からなる「障害者福祉サービス適正化連絡会議」が設置されました。

第1回目の連絡会議は、札幌市、芦別市、赤平市、福島町の3市1町を参集範囲として5月19日に開催され、重度心身障害者医療給付の助成金の返還等の対応などを協議し、返還手続きに向けて6月下旬を目途に、道と市町村で統一した対処方針をまとめることとなりました。

★ 吉岡温泉の利用状況について

平成20年度の吉岡温泉の利用者数は67,922人で、前年度の69,133人に比べて、1,211人（1.8%）の減となりました。燃料等の高騰や景気の低迷などが影響したものと考えられますが、今後も利用者の増加に向けて促進対策とサービスの向上に努めてまいります。

★ 火葬場建設事業について

福島町火葬場建設事業は、4月20日に建築主体工事外3工事の入札を行い、4月30日開催の定例会4月会議で契約締結の承認をいただき、現在施工中であります。また、火葬炉設備工事の施工業者につきましては、調査特別委員会でご承認をいただいた業者である、株式会社宮本工

業所に決定し随意契約を締結しております。

★ 前浜の漁業について

今年は例年より時化が多い中で春漁が行われました。マス、タコ、ソイ類は昨年を上回る水揚げがありました。ヤリイカ漁は、数量、金額とも昨を下回る水揚げとなったとの報告を受けております。

6月1日よりイカ漁が解禁となりましたが、例年以上の大漁と高値安定で推移することを期待しております。

今月下旬より本格的採取の始まります養殖昆布については、例年に比べ成育が良くないとの報告を受けており、安定的な生産量の確保を強く望んでいるところであります。

なお、今議会に吉岡荷捌施設建設に係る予算を補正計上しておりますので、よろしくお願い致します。

★ サケマス孵化場の建設について

長年要望してまいりました、サケ、マス孵化場は、渡島さけ・ます増殖事業協会が、町内三岳地区に建設することに決定し、6月中に発注予定である旨の通知を受けております。

★ 農業の状況について

水稻生産農家においては、田植えも終わり一段落しておりますが、今後は天候に恵まれ、昨年以上の豊作を期待しているところであります。

又、試験栽培3年目となりました黒米（夢むらさき）につきましては三岳地区、千軒地区で昨年より30a多い、約90aの田植えを終えており、20年産米は町内を中心に順調な販売をしていることから昨年以上の収穫と売上を期待しているところであります。

朝市実行委員会による『どすこい朝市』は、今年も5月17日から開催されており、10月までの毎週日曜日に新鮮野菜、新鮮魚介類など地場产品中心の販売で、これまで以上の盛況を期待しております。

★ 林業及び治山事業について

毎年恒例となりました町民植樹祭が福島町森づくり協議会主催で5月17日に開催されました。

当日は、福島町森林・林業・林産業活性化議員連盟、福島吉岡漁業協同組合女性部及び福島町建設業協会等の団体が中心となり、一般参加者の他に、特別参加の函館開発建設部及び渡島西部森づくりセンター職員を加えた総勢70名で、字館崎地区の町有林に、ヒバ・ミズナラ・クリの苗木480本の植樹がされました。

また、道発注の治山事業につきましては、吉野地区保安林改良工事が5月26日に発注され、日向地区治山工事につきましては7月中の発注を予定している旨の報告を受けております。

★ 第19回北海道女だけの相撲大会について

福島町観光協会主催による北海道女だけの相撲大会が、5月10日鏡山公園相撲場で開催され、町内をはじめ、岡山県・埼玉県や、札幌・北広島方面、米国・豪州など海外出身の外国語指導助手の参加もあり国際色豊かな大会となりました。

参加した64名の選手は約1,800人の観客から大きな声援を受け事故もなく終始和やかなうちに大会を終了することができました。

また、本年は「第1回釧路女相撲大会」を主催する実行委員会のメンバー5名も開催日前日から視察に訪れていました。

なお、来年度は第20回大会であり記念すべき大会とするため、積極的に支援してまいります。

★ 両記念館の入館状況について

横綱記念館の本年度のゴールデンウィーク5日間の入館者数は2,272人で前年より489人の増加となり、青函トンネル記念館の入館者数も2,154人で前年より460人の増加となっております。

両記念館とも対前年比では27パーセント増加となっておりますが、過去3年間の平均入館者数と比較すると7パーセント減少しておりますので、今後、より一層の入館者の増加を図るため、集客の対応については

関係者と協議して参ります。

★ 「プレミアム商品券」の発行実績について

福島町商工会が実施したプレミアム商品券発行事業の実績報告書は4月10日に提出があり、利用取扱店は71店となっております。

利用業種の内訳は、燃料小売業41.5パーセント、飲食料品小売業18.7パーセント、電化機械器具小売業8.8パーセント、家具等小売業7.8パーセント、呉服等小売業7.7パーセントと、この5業種で84.5パーセントを占めております。

その他、娯楽用品、医薬、化粧品、理容・美容業、自動車整備業など17業種と多岐にわたる利用状況となっております。

年度末の消費の需要と併せて地元商工業者への波及効果はもとより、商品券が消費者や取扱業者に浸透しており、経済活性化の一助として一定の成果があったものと思料しております。

なお、今議会に消費者行政活性化事業に係る補正予算を計上しております。

★ 建設事業について

平成21年度事業の町道維持補修工事については、4月中旬に、礼髭橋橋梁整備工事については、5月下旬に発注し、現在施工中であります。

本年度の丸山団地町営住宅建替事業は、4月20日に建築主体工事外3工事の入札を行い、4月30日の定例会4月会議で契約締結の承認をいただき、現在施工中であります。

次に、平成19年5月以降、連絡が取れず居所不明となっている町営住宅入居者に対する「住宅明渡し等の請求」について、函館地方裁判所への「訴えの提起」をするにあたり、地方自治法により事前に議会の議決を必要とすることから、今議会に議案提出しておりますので、よろしくお願いいたします。

道における岩部渡島福島停車場線災害防除工事は、繰越事業として2月初旬に発注され現在施工中とのことです。また、福島塩釜5急傾斜地工事地質調査委託及び法面対策工設計委託業務を4月中旬に、豊浜地区急傾斜地法面対策調査設計業務を6月上旬に発注されたとの報告を受けております。

福島川改修事業につきましては、今年度の月崎側用地調査を9月に、支障物件調査業務を11月以降に発注予定との報告を受けております。

なお、町道みどり町線については、現況を兼用工作物道路として供用できるように現在協議中ではありますが、函館土木現業所において、4月中旬に町道修正線形調査及び地形調査業務を発注されたとの報告を受けております。

函館開発建設部では、吉田橋架換えに伴う迂回路設置のための支障物件の移転補償及び借地契約事務を完了次第、工事を発注予定との報告を受けております。また、宮歌地区の橋梁高欄補修工事を3月上旬に発注し、現在施工中とのことであります。

★ 水道事業について

当初予算に計上しました、町道宮歌2・3号線配水管取替工事は4月中旬に、日向地区配水管布設工事は5月下旬に発注し、現在施工中であります。

次に、町道赤川4号線に布設されている個人所有の給水管について、所有者より寄附をしたい旨の申出がありましたので、当該給水管は地域で唯一の配水管としての役目を担い、給水戸数も現在は11件を数えるまでに増えていることから、4月1日付けで寄附を受納することとして、物件の受渡を行いましたことをご報告申し上げます。

以上で、平成21年第1回定例会以後の私からの行政報告を終わります。

なお、教育行政報告については、このあと教育長から報告させますが、本会議に提案の議案は、新たに生じた土地関係が2件、訴えの提起が1件、予算案が3件、報告1件の計7件のご審議をお願い申し上げます。

議案の内容につきましては、後ほど担当課長等から詳しく説明させますので、ご審議のうえ議決賜りますようお願い申し上げます。

教 育 行 政 報 告

本年の町議会第1回定例会以後の教育行政報告を申し上げます。

★ 町立学校等のICT環境整備について

本年度の更新整備を予定している「中学校教育用コンピュータ整備事業」につきましては、関係常任委員会における調査事件として専門的知見の活用を含めて調査を行なっていただき、「学校の規模に応じたネットワーク構築により整備費を最小限に抑える努力を望む」との意見が示されたところであります。

その後、国の経済危機対策に関する情報が示される中で「学校ICT環境整備事業」につきましては、今年度に限り、教育用及び校務用コンピュータ・校内LANの整備、加えて教育用テレビ全てのデジタル対応テレビへの買替え等に対して国庫補助を講ずるほか、地方負担分についても「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」を充てること出来ることとして、実質的な町費負担を伴わない整備が可能とされております。

このため、町内小学校及び中学校等の各設備整備にあたっては、町費負担を最小限に抑えることのできる今般の制度を活用した対応を図るべく、国の21年度補正予算による「学校ICT環境整備事業計画書」を、先般、文部科学省へ提出したところであり、今後、事業内定等の通知があり次第、これまでの計上予算等を整理のうえ、関係予算の補正提案をしまいたいと考えております。

★ 吉岡中学校閉校委員会の発足について

吉岡中学校につきましては、平成22年4月1日をもっての福島中学校との統合を控え、PTAや地域住民、吉岡中学校同窓生などの方々で組織する閉校委員会が、去る4月23日に発足いたしました。

これまでの協議を通して、閉校記念式典等の日程は平成22年2月7日に実施することが決定されており、今後、閉校に伴う諸事業の詳細が

まとめ次第、関係予算の補正提案をまいります。

★ インフルエンザの発生について

ゴールデンウィーク後の5月12日、福島中学校から生徒がインフルエンザに感染した旨の報告があり、翌日の校長会等を通じて各小中学校での感染を予防するため、うがいや手洗い等の励行等を指示したところであります。

その後、福島中学校ではインフルエンザの罹患生徒数が23名となり5月13日から15日まで学校閉鎖といたしました。また、翌週の5月18日以降には、福島小学校においても一部学年における学年閉鎖がなされたところであります。

関西方面等では、新型インフルエンザの国内感染が確認されていることから、今後もこうしたウィルス感染を防ぐためにも、学校を通じて児童生徒に対する予防策の対応に努めてまいります。

★ 校舎の耐震化について

福島小学校の南側校舎については、耐震性を向上させるため旧給食準備室の壁改修工事が3月末に終了しております。

また、吉岡中学校の北側校舎についても耐震性能診断を行ったところ、1次診断、2次診断ともに構造耐震指標において「倒壊の危険性は低く、原則として補強の対象とならない建物」との診断結果となり、校舎の耐震化に向けた対応が終了したところですが、今後も、児童・生徒の安心・安全の確保に努めてまいります。

★ 旧白符小学校校舎の利活用について

閉校後1年を経過した旧白符小学校校舎につきましては、以前より利活用に向けた検討の話があったところですが、町広報4月号により、施設の利活用に関してアイデアを募集したところ、収集保存している民具等の整理やパソコン教室、バンド練習の場としての活用など、複数の団体等から利活用の申し出がありました。

現在、地元である白符町内会における利用計画もないことから、

教育委員会としましては、今般の利活用希望団体等が、生涯学習活動を中心として、当面、本施設を有効に活用していくことが出来るよう、施設の利用維持に係る補正予算を今議会に計上しております。

★ 女性団体等の連携組織について

福島町女性団体連絡協議会につきましては、諸般の事情により本年3月末をもって解散したところであります。

しかし、町内的な女性団体等の連携組織がなくなるという状況下において、今後、災害時や生活環境改善活動を展開する際には支障が生ずるという共通理解の下に、町内の産業・ボランティア・町内会等の複数の女性団体等による新たな連携組織の設立が計画されており、これまで、準備的な会合が2回開催されております。

教育委員会としても今後の新たな組織の設立を期待し、側面からの支援・協力を努めてまいりたいと考えております。

★ 各社会体育施設等のオープンについて

本年も、町内の各社会体育施設等がオープンしておりますが、ファミリースポーツ公園パークゴルフ場は4月22日にオープンし、年度始めは積雪もありましたが芝の状態も良く、順調に利用されております。

また、町民プールにつきましても6月2日にオープンし、今後、町民の皆様の各施設の利用促進を期待しております。

★ 吉岡地区合同大運動会について

吉岡地区の幼稚園、小・中学校、町民合同の大運動会が5月25日に開催されました。

吉岡中学校としての参加が最後となる本年度の大会は、「ありがとう吉岡中学校」をサブテーマとして、中学生はもちろん、幼稚園児や小学生、そして町民も元気よく競技などへ取り組み、好天のなかで終了したところでございます。

以上、平成21年度定例会6月会議にあたり、教育分野に係る行政報告を終わります。